

今後の下水道事業の 進め方について

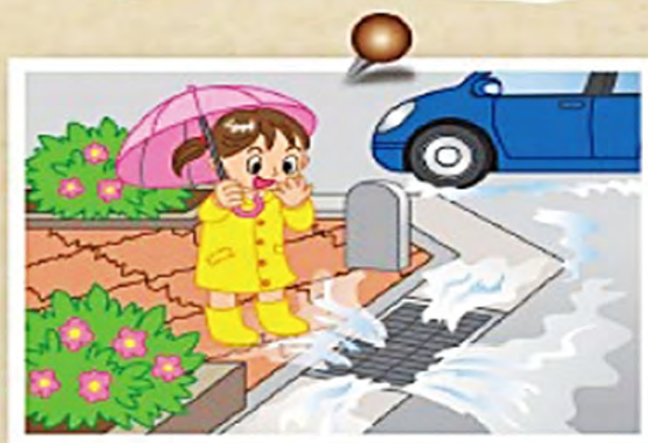
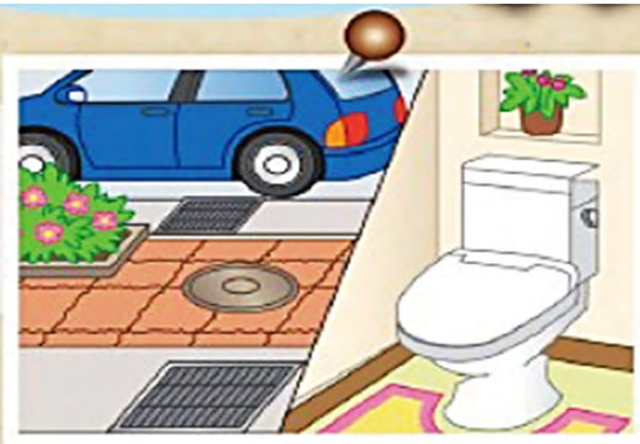
下水道部
下水道建設課



下水道の役割

街の衛生とくらしを守る!

下水道が整備されると、街に汚水が直接流れず、水洗トイレも使えるようになり、害虫の発生や伝染病を防ぐはたらきがあるよ。



浸水から街を守る!

雨をすばやく下水道管に集めて、街中が水びたしにならないようにしているよ。

身近な環境を守る!

汚れた水をきれいにしてから海や川に戻すから、きれいな水のじゅんがんを保ち、環境を守っているよ。



下水道の種類

合流式下水道



分流式下水道

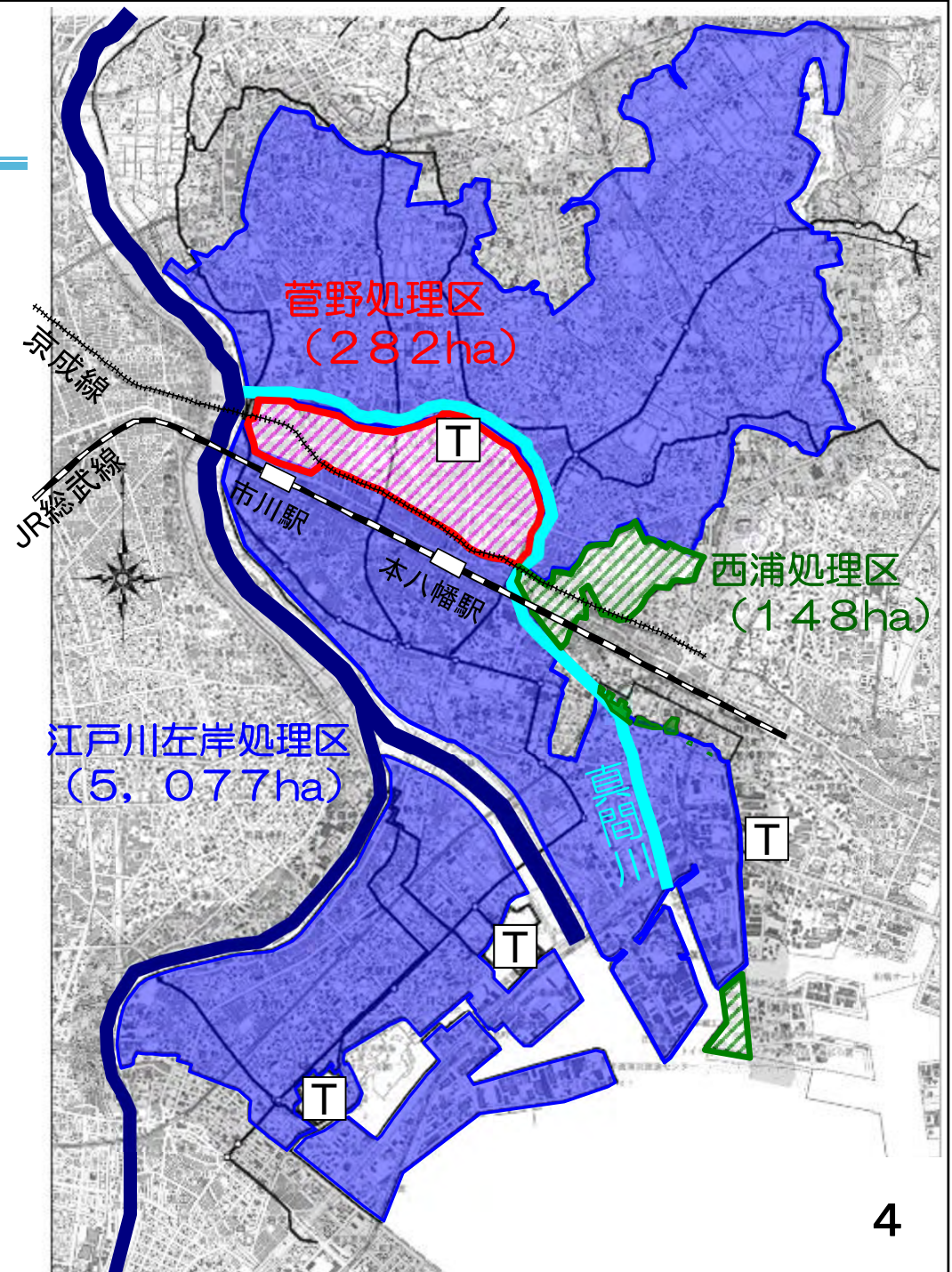


市川市の公共下水道

【汚水事業】

[整備状況 (令和4年度末時点)]

処理区名	事業計画面積 (ha)	整備面積 (ha)
菅野 (合流)	282	282
西浦 (合流)	126	101
江戸川左岸 (分流汚水)	2,611	2,077
合計	3,019	2,460



下水道整備の目標（下水道の普及）

国：下水道による汚水処理の10年概成を目指す（H26.1）

市：汚水適正処理構想
（H28.3）
（施設整備を効率的
かつ適正・確実に
進めるための方針）

内 容	事業期間
（ <u>第一優先整備</u> ） 臨海部の工業系用途 等を除く市街化区域	令和11年度 まで
（ <u>第二優先整備</u> ） 臨海部の工業系用途 等・市街化調整区域	令和12年度 以降

- ▶ 令和11年度末の下水道普及率 約97%（現況：77.5%）
- ▶ 令和11年度までに残り約1,000ha弱の整備

下水道（汚水）の整備状況

令和4年度末
下水道普及率

市川市: 77.5%

(参考)

松戸市: 88.4%

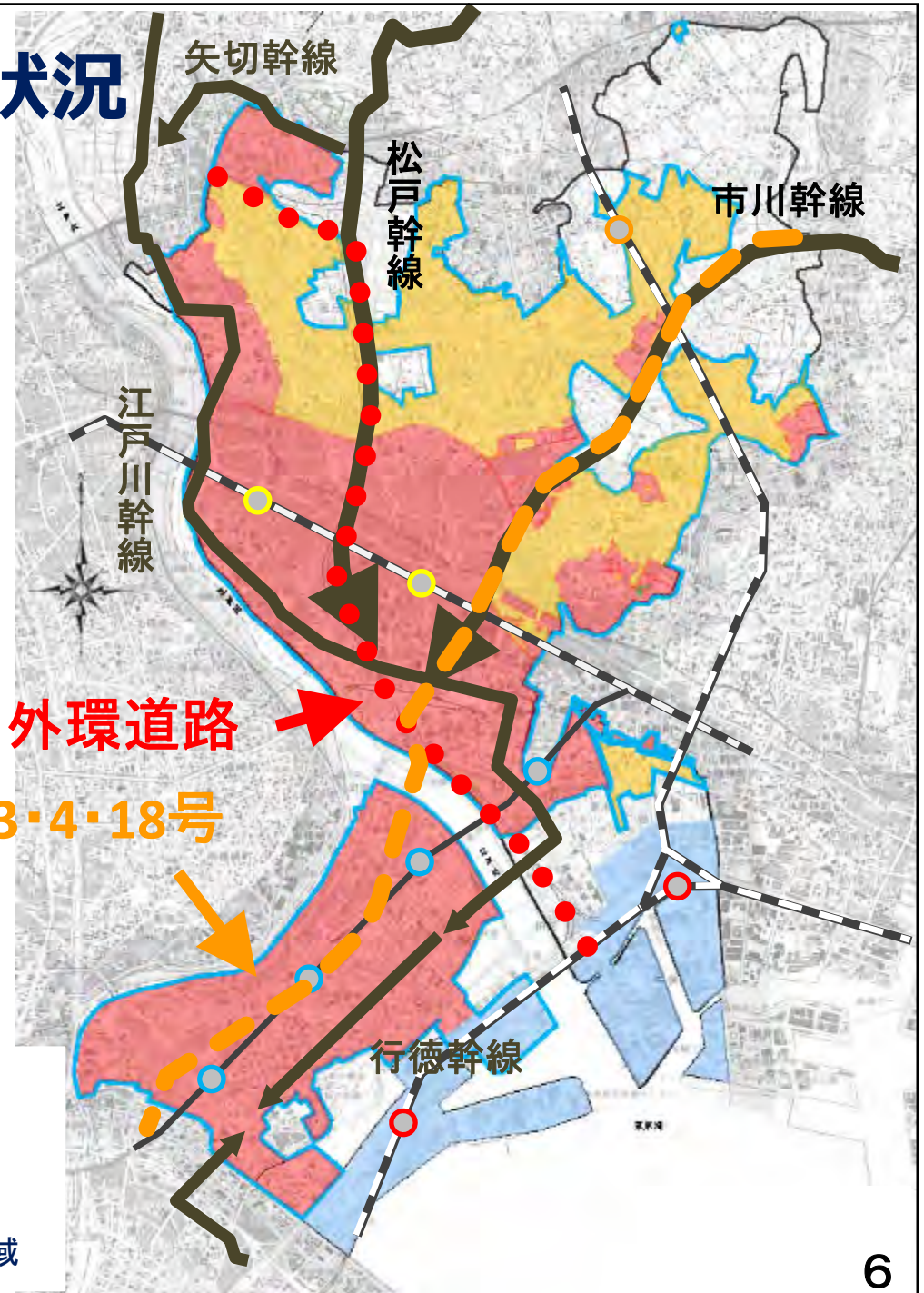
船橋市: 90.9%

浦安市: 99.8%

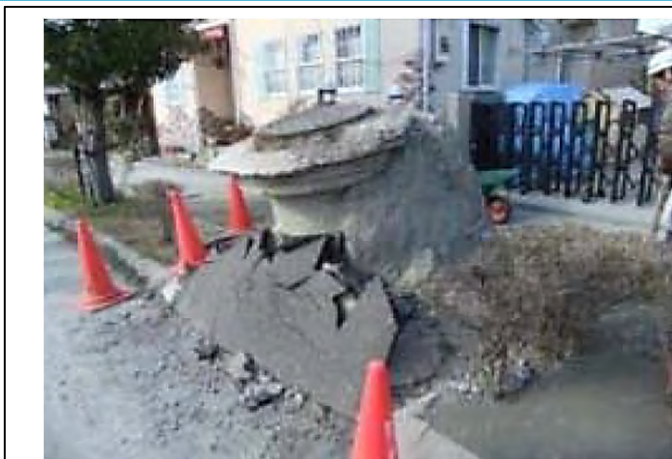
千葉県: 76.6%※

※千葉県の普及率はR3末時点

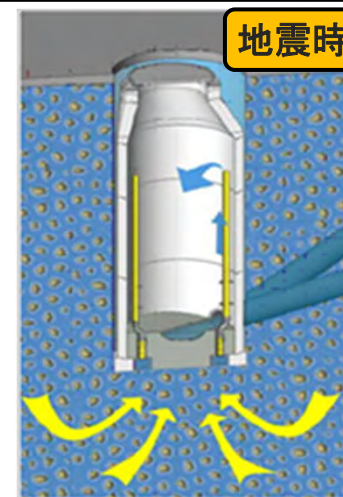
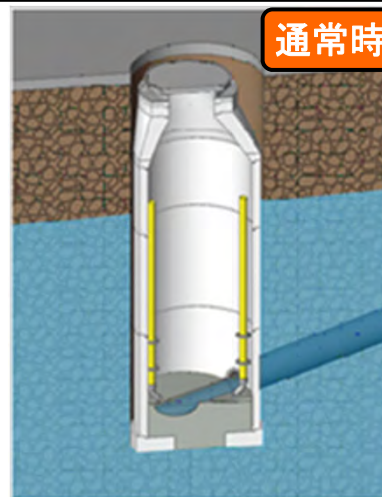
-  都市計画決定区域
-  整備済み
-  未整備(優先整備)
-  臨海部工業系等地域



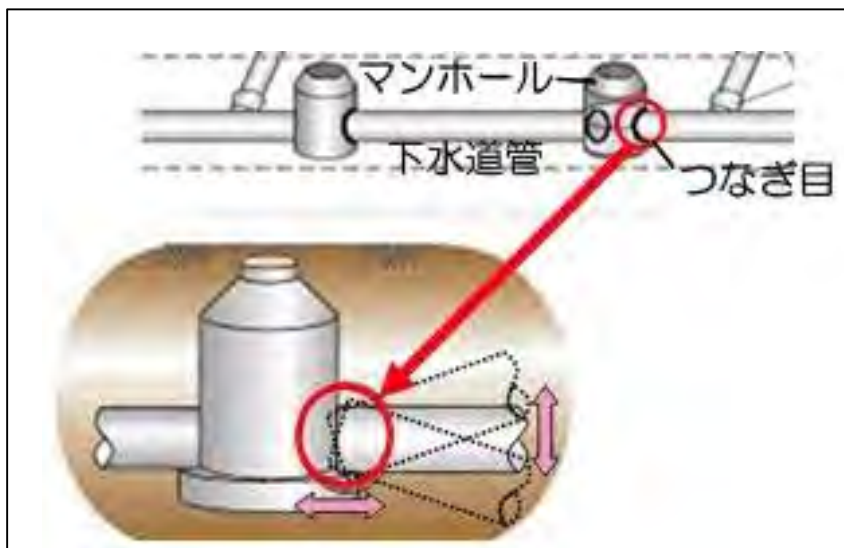
地震対策



浦安市(写真:国交省)



[地震によるマンホール浮上防止]



[継ぎ手部の可とう化]



[マンホールトイレの設置]

老朽化対策

◆事業の背景

- ・全国の社会資本の老朽化
下水道においても膨大な施設ストックを保有

◆事業の目的

事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化

【市川市の状況】

昭和36(1961)年から菅野処理区着手 処理場昭和47年供用開始

昭和47(1972)年から江戸川左岸流域関連公共下水道事業に着手し、現在整備中



本市としては、菅野処理区を優先的に実施する ⇒ スtockマネジメント計画

ストックマネジメント計画

○菅野処理区 282ha

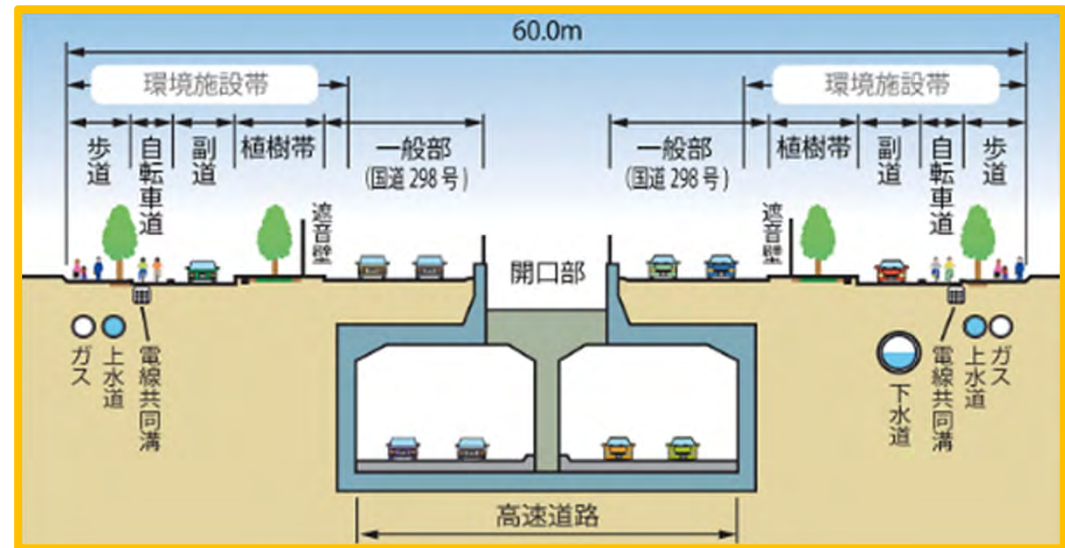
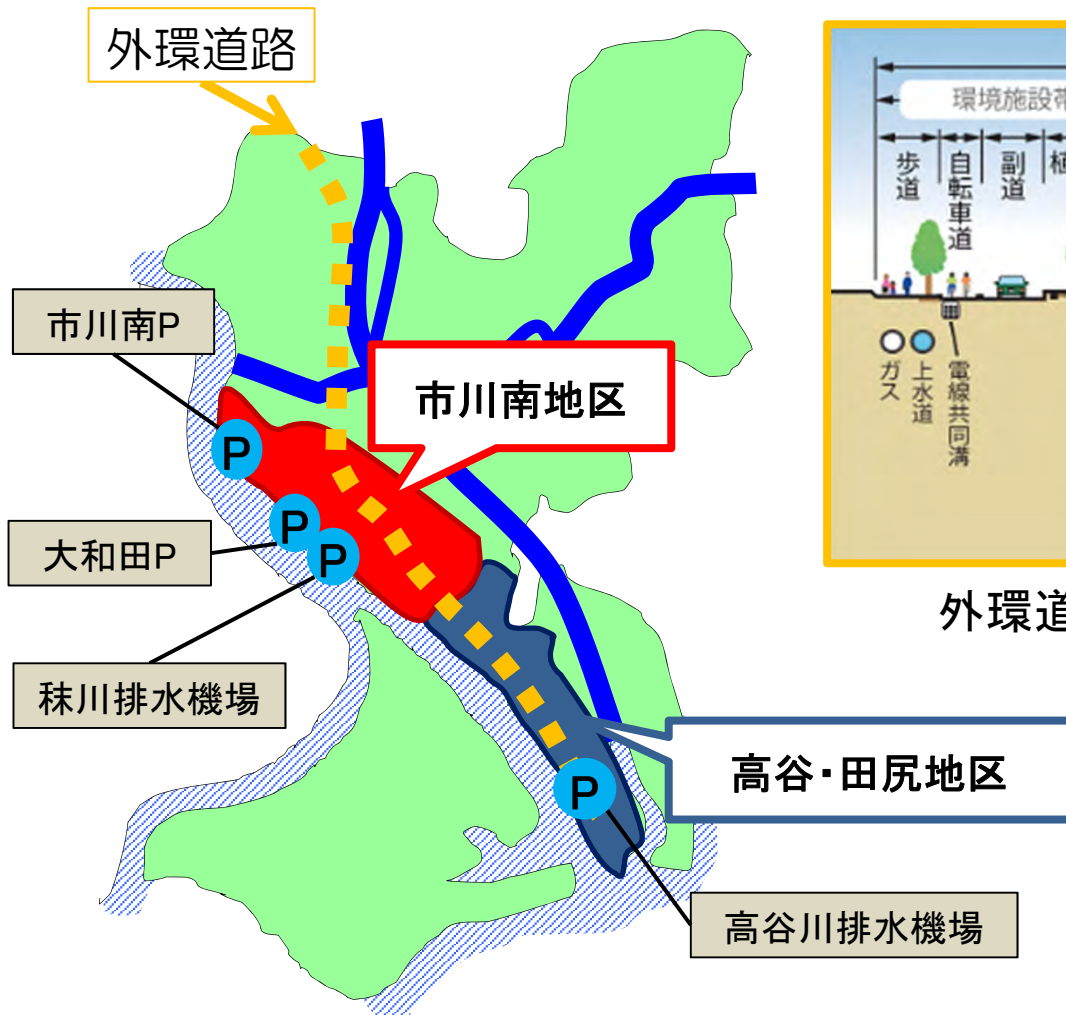
- ・菅野処理場
- ・真間ポンプ場、菅野ポンプ場
- ・管渠 延長 : 約66km

○その他の雨水ポンプ場

- ・河原ポンプ場、押切ポンプ場、
香取ポンプ場、欠真間ポンプ場、
相之川第一ポンプ場

雨水事業 [整備優先区域]

○市川南地区、高谷・田尻地区を整備優先区域に位置付け、重点的に浸水対策を行っている。



外環道路の標準断面図 (千葉県区間)

雨水事業(市川南地区)



○見直し内容

- 排水システムの強化
1系統 → 3系統へ
(2ポンプ場を新設)
- 排水能力の向上
23m³/秒 → 60m³/秒へ

雨水事業(市川南地区)



雨水事業(高谷・田尻地区)

○江戸川と真間川に挟まれた低地部、約238haの区域。

